

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2011.9.28 No.42

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://www.jcp-yamada.jp/>



杉並区 ミニホットスポットの存在認める

区議団との共同測定で明らかに 毎時0.33マイクロベルトを検出

九月二十七日（火）、日本共産党杉並区議団と杉並区との放射線量共同測定が行なわれました。

この間、区議団が取り組んできた測定を基に、局所的に高線量が検出された「四宮森公園（隣接児童館南側壁面下）」の土壌を測定しました。

区議団、杉並区、区が委託した専門業者の測定機で、それぞれ測定を行なったところ、区議団は0.36、杉並区は0.250.3、専門業者は0.33の数値が計測されました。この数値は、年間1ミリシーベルトを超える線量です。

これまで杉並区は「区が行なってきた測定では、線量が高い場所は見つかっていないので、施設の詳細測定は行なわない」としてきましたが、今回の測定で、局所的に高線量の場所が存在することが明らかになりました。



測定機を並べて計測中
私も立ち会いました

95施設670カ所の測定結果 区に伝える

日本共産党杉並区議団が行なった測定結果は95施設670カ所（9月22日時点）となり、測定結果は区に伝え、線量の高いポイントについて、区としての詳細な調査を行なうよう求めました。

また、保健福祉委員会の質疑で、9月27日から再度、調査を開始する事が示されました。



測定データは、区議団のHPでご覧になれます。

杉並区の責任で除染を約束 早期の詳細調査・除染基準の設定を

今回、測定した地域については、区が責任を持って除染することが決まっています。

今後、放射線感受性の高い子どもたちが関わる場所については、ただちに詳細な調査を行なうことが必要です。

また、除染の基準を設定し、ミニホットスポットが発見された場合、すみやかに除染すること重要になります。

9月28日付 朝日新聞に掲載

児童館裏を測定
杉並区除染方針
「毎時0.25マイクロベルト」前後を目安に除染活動をしていくこと、杉並区も来月には初の除染作業にとりかかる方針だ。
区除染基準では、問題の地点が周囲より地形的に低く、また近くにコンクリートの仕切りがなくて雨水がたまりやすいことから放射線量が縮減されたので、0.33マイクロベルトを基準として除染することになった。（斎藤孝）
練馬区や足立区などでも

1キロで6.6秒短縮…莫大な税金を使う理由!?

**交通量が減り続けているのに
いまだに大規模道路に固執**

現在、莫大な復興資金が必要になってきているのにも関わらず、外環道計画が進み続けています。

九月二十六日(月)道路交通対策特別委員会が行なわれました。今回の委員会に提出された資料では、外環道計画予定地周辺の将来の交通量予測が示されました。その資料では、外環道計画予定地の周辺道路(22路線)404.6キロが、外環道を整備することにより、合計45分間短縮される(交通量が増加し混雑する路線もある)とされています。1キロに換算すると、たった6.6秒です。その僅かな時間を短縮するために、莫大な税金を投入することが、果たして重要な施策なのでしょうか?

**周辺道路2% その他道路98%
外観のB/C(費用便益比)が不透明**

外環道計画のB/Cで効果の評価対象に含まれている道路の98%程度は、「その他」道路です。「その他」道路には、建設による影響をほとんど受けない遠方の道路まで含まれていることも多く、建設によって住民らが受ける便益を大幅に水増しするような事態も問題になっています。

98%の「その他」道路の情報も示されておらず、早急に明らかにする必要があります。



影響を受ける周辺22路線のみが示され、その他道路は不明です。

今週の一こま

日大二高通り祭りのプロレス興行
子どもたちも大喜び!

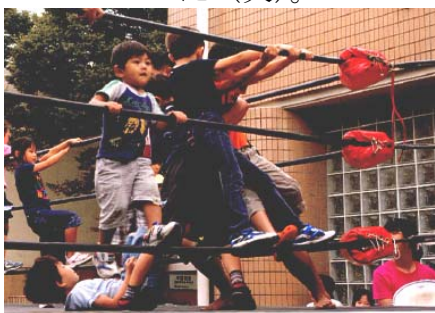
9月23日(金・祝)プロレス興行を行いました。学生時代に所属していたプロレス研究会メンバーを招集し、特設リングを設置。私自身も試合をしました。

さすがに、社会人にもなると体力的にキツかったのですが、何とか勝利しました。

試合後は、子どもたちにリングを開放。生まれて初めてのリングに、子どもたちも大喜び。



50人近い子どもたちの相手をしたレスラーたちは試合以上にヘトヘトになっていました(笑)。



マスクのレスラーが私です(上)
大勢の子どもが集まってきました(右)

B/Cってなに?

道路事業を行なう際、道路整備による事業の効果を金銭に置き換えて、その妥当性を評価するための指標になる。

道路事業で得られる効果のうち、「走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少」の**3便益(B)**を合計して数値化し、「維持管理費や事業に要する工事費など」の**全体事業費(C)**で割った値。

費用便益比が1.0を下回ると費用対効果が低いと判断される。外環道はB/Cを次々に下方修正し(3.3→2.9→2.3)、現在は2.3になっている。

決算特別委員会で質疑

～傍聴にお越しく下さい～

■9月3日(月) 11時頃(持ち時間15分間)

質疑内容 ・介護保険と高齢者施策
・保育と子育て
・障害者施策の拡充
・生活保護の実態

■9月4日(火) 時間未定(持ち時間5分)

質疑内容 ・外環道問題 ・震災対策

※傍聴の際は、資料を準備しておきますので、控室へお立ち寄りください。